

(別添3)

【 南国市 】

校務 DX 計画

次世代の校務デジタル化に向け、文部科学省が公表した「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に示されている、教育委員会及び学校が教育 DX を推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するため、本市の課題解決に向け、今後は次に掲げる3項目を重点的に推進していく。

1. FAX・押印の原則廃止への取組

全ての学校が FAX を使用しており、そのやり取りの相手が、教育委員会及び役所・役場と回答している。また、保護者・外部とのやりとりで押印や署名が必要な書類があると回答している。今後は、FAX や押印等について制度・慣行の見直しを市全体で足並みを揃えて実施する。また、押印廃止については各種申請書や各種参加・同意・承諾書等、クラウドツール活用への検討も推進していく。

2. 保護者連絡用アプリの活用

本市では、連絡用アプリを導入し、市や学校からの各種文書や事務連絡等を一斉配信するところにより、印刷や配布にかかるコスト削減が実現できている。また、欠席連絡や調査・アンケート等、クラウドサービスを用いて実施・集約ができるようにしている。各校で活用率は増加しているため、今後も推進して取組んでいく。

3. クラウド環境を活用した校務 DX の推進

本市では、小中学校教職員に対して個人メールアドレスが付与されており、情報共有や連絡には Microsoft と Google の両方のツールが活用できる環境が整っているため、情報共有や連絡はクラウドツールの活用が一般的になっている。しかし、Wi-Fi や全教職員の端末等、環境整備が十分に整っていないこと。資料が慣例で印刷配付されているケースもあり、職員会議や研修会では活用が進んでいない。これらの状況を改善するため、クラウドツールを一層推進するための環境整備が必要である。